

# 浦安市教育ビジョン

基本理念

未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成



浦安市教育ビジョンの詳細につきましては、浦安市教育委員会ホームページでもご覧いただくことができます。

## はっぴいはっぴようかい



11月26日(土)に、浦安市文化会館小ホールにおいて第26回浦安市小中学校特別支援学級合同学習発表会が行われました。

「はっぴい・はっぴようかい」という通称で親しまれている学習発表会です。今年度は、特別支援学級が新設された美浜中学校を加えた小学校8校、中学校6校、135名の子どもたちが元気に発表しました。

また、今年も保護者の皆様をはじめ、同じ学校の友だちや中学校の部活動の仲間など多くの皆様にご参観いただき、和やかな雰囲気の中で開催されました。

### <参観者の感想より一部抜粋>

- ①みんなが楽しそうだったり、一生懸命だったりしてとても感動しました。小学生はかわいかったし、中学生はたくましかったです。こういう発表の場があることは子どもたちにとって自信につながり、成長の糧になると思います。
- ②心温まるすばらしい発表に感動の連続でした。一人一人の子どもたちがキラキラ輝いていました。やり切った子どもたちの喜びいっぱいの表情も忘れられません。本当にすばらしい発表、ありがとうございました。これからもぜひ、幸せの「はっぴい・はっぴようかい」、続けていただきたいです。
- ③一人一人の演技力はとても素晴らしいもので、友達の大さやあきらめない気持ちを改めて感じることができました。私たちも発表した子どもたちに負けないように友達を大切に、あきらめない気持ちをずっと持ち続けていきたいです。これからもがんばってください。

今後も浦安市では、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援ができるよう、特別支援教育の推進に努めていきます。

## 浦安っ子をはぐくむ教育環境の充実

こうした各学校での取り組みを支援し、浦安っ子の豊かな学びや健やかな成長を支えるために教育委員会では、教育環境の充実を図っています。

具体的には、子どもたちの学習への興味・関心を高め、わかりやすい授業を展開するために、少人数教育推進教員の配置や情報教育の充実などに努めています。

さらには、各学校における多様な体験活動や豊かな心をはぐくむ感動体験を支援する「ふるさとふれあい教育活動推進事業」など様々な側面から子どもを支える教育活動の充実を図っています。

平成23年度からは、学校と地域の連携をより深めていくことを目的に学校支援コーディネーターの配置に取り組み始めたところで

す。学校支援コーディネーターは、学校を支援するボランティアの方々や学校との連絡調整を主な役割としています。このことにより、地域の教育力を生かした学校教育の充実が期待されます。

浦安の未来、日本の将来を担っていく子どもたちは、家庭だけでなく、地域や社会にとっても大切な存在です。浦安っ子一人一人が未来に向かって豊かに成長していくことを願い、今後も学校、家庭・地域と行政が一体となって子どもたちを豊かにはぐくんでいきたいと考えています。

# 特集 1

# 豊かに生きる浦安っ子の育成をめざして



小学生との交流を通して、園児の入学に対する不安がやわらいていきます。(日の出小・日の出幼稚園)

具現化の一つが幼・保・小・中連携教育の推進です。

浦安市では、幼稚園、保育園、小・中学校の保育士・教師がともに手を携え、子どもたちの「確かな学び」の実現という共通の願いをもって浦安っ子をはぐくんでいきます。

## 幼・保・小・中が手を携えてはぐくむ浦安っ子

市内の小・中学校では、中学校教師による小学校での授業展開や教師相互の授業参観など授業を通じて連携が広がっています。

専門的な知識や技能をもった中学校の教師の授業を受けることは、小学生にとって、理解がより深まることも中学校の学習への意欲の高まりにつながります。また、相互の授業参観を行うことで、中学校の教師には、「生徒がどのような学習を経験しているのか」、小学校の教師には「今の学びがどのような学習に結びつくのか」がそれぞれ明確となり、学びの連続性を重視した授業づくりをすることができるようになります。

二つ目は学校と地域の連携の推進です。

浦安市では、学校と地域が一体となつて、地域と豊かにかかわる浦安っ子、ふるさと浦安に誇りを持つ浦安っ子をはぐくんでいきます。

市内の小・中学校では、子どもたちが様々な立場の方々や豊かなかかわりが持てるように地域の方々に学校の教育活動への支援をいただいています。

地域の方々との交流は、感動を伴う体験学習の場であるとともに、地域への愛着をはぐくむ貴重な場となっています。

子どもと浦安の歴史や文化をつなぐ大きな役割を果たしているのが郷土博物館です。各小・中学校では、年間計画の中に郷土博物館での活動を組み入れ、海苔すきや



地域の方々とともに…堀江フラワー通りのロードアートは南小学校の伝統的な取り組みになっています

浦安の子どもたち一人一人が未来に向かって大きな夢を持ち、様々な人と豊かにかかわりながらすくすくと育つてほしい、そうした願いを込めて平成22年に「浦安市教育ビジョン」を策定しました。

教育ビジョンの5つのめざす子ども像には、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」に加えて「豊かなかかわり」「郷土愛」を掲げ、豊かに生きる浦安っ子の育成をめざしています。

策定から一年を経て、市内の小・中学校を中心に教育ビジョンの具現化に向けた様々な取り組みが行われています。



明海南小・明海中学校では、小・中合同の古典の授業を展開しました。

## ふるさと浦安と豊かにかかわる浦安っ子

また、市内の多くの幼稚園・保育園、小学校においても小学校に入学した子どもたちが環境の変化に戸惑うことなく、安心して学校生活を送れるように、相互の保育・授業参観や情報交換が積極的に行われています。

こうした取り組みを通じて、保育士、教師の子どもへの理解がより深まり、子どもの生活や学びが

幼稚園・保育園から小学校へと滑らかに接続できるようにするなど大きな成果をあげています。

子ども同士の交流では、小学生が入学を控えた園児に学校を案内したり、中学校の体育祭に小学生が参加したりする活動などが盛んに行われ、子どもの中に、年上の人に対するあこがれや尊敬、年下の子への思いやりの気持ちなどがくまれています。

貝むき、投網などの体験活動を行っています。

浦安の歴史を支えてきた方々の「名人技」に歓声をあげ、自分も近づこうと挑戦する子どもたち。そしてそれを温かく見守るの方々。そこには、世代を超えて浦安の歴史を共有する豊かなかかわりがあります。